



■ オーバーホールのおすすめ

ダイキン工業株式会社

シーズンピーク時、ビルエアコンに故障があってはならないから

オーバーホールを

故障
予防

快適性
維持

延命
確保

エアコンのより安定した運転のために

日常生活においてエアコンはかせられないものとなり、ユーザーニーズの多様化・高度化に伴い、より安定した運転が必要とされています。

通常、パッケージエアコンの耐用年数は10年～15年と なっていますが、これも定期的な点検・洗浄、さらに適切な時期に修理・部品交換などの事前保全整備により、「機器の長寿命化」、「快適な環境」と「経済的な運転」の実現が可能になります。

以上をご理解していただき末永く当社の製品をお使いいただくことをお願い致します。

ムダな出費をおさえます。

突然の故障による修理に思いがけない支出を迫られることはありません。計画的な予算がたてられます。

高効率維持で経済的です。

運転効率を最上に維持することにより、無駄なエネルギー消費を防ぎます。

機器の運転効率を高めます。

定期的な調整により常に快適な運転性能と温度条件を正しく管理します。

機器のロングライフ化を実現します。

高価な機器がきめ細かい保守で末長くご使用に耐え寿命も延びます。

安全性が向上します。

高圧ガス(フロンガス)・電気製品などを使用している冷暖房機においては常に安全性が高くなければなりません。定期的な点検 絶縁測定・ガス洩れ検査 により安全性を高めます。

すすめします

エアコンの止めれない場所はありませんか？

CASE STUDY

病院



電算機室



店舗・テナント



生産設備

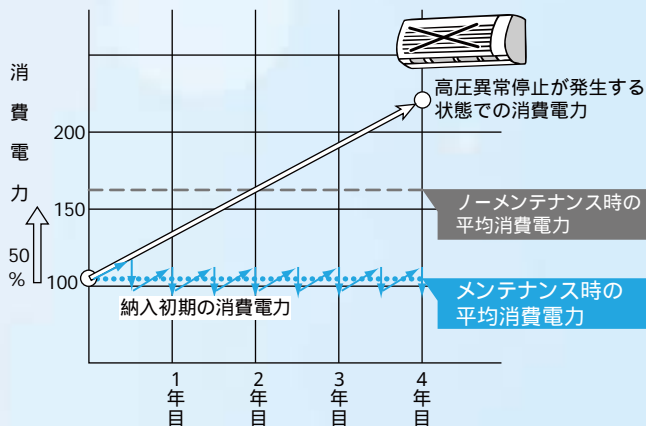


保守点検・保全整備の有効性

DATA

暖房運転時の消費電力

高圧上昇にともなう消費電力UPをシミュレーション

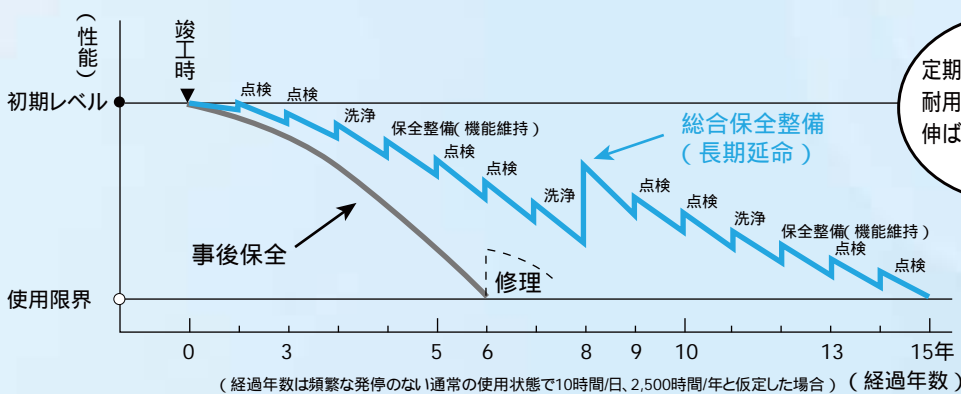


ノーメンテナンスによる消費電力の増加

定期的なメンテナンスはランニングコストを低減させます。エアフィルタや熱交換器を清掃しないで運転を続けると、例えば暖房運転では次第に冷凍サイクル内の圧力が上昇するため、消費電力も著しく増大します。

ある事例ではノーメンテナンスのまま運転し、約4年後に高圧上昇のための異常停止にいたりましたが、この場合は左図にある様に、定期清掃をした場合に比べ、約50%も電気を浪費したことになります。

耐用年数の延長の考え方



定期メンテナンスで耐用年数を倍以上に伸ばすことができます。



用語の説明

■点検	機器の機能や性能を計測し、現状で最適な状態にするために行う診断作業 および機能や性能に低下傾向が見られる場合は事前の保全整備または機器更新を提案
■保守点検	保守契約を頂いている機器の点検作業（主に冷房/暖房シーズン前に実施）
■保全整備	機器の修理や部品交換を行い、機能や性能を当初レベルに戻すための運転調整作業 「オーバーホール」と同義語で、以下の2種類に大別される。 「総合保全整備」: 「長期延命」を主目的にした、システム全体を対象に行う保守整備作業 「保全整備」: 劣化が予測される部分の「機能回復・維持」を目的にした部分整備作業
■事後保全	故障発生機器に対する故障の原因予測から再発防止を含めた保全整備の提案または作業
■洗浄または薬品洗浄	室内/室外熱交換器の性能を当初レベルに戻すための薬品による洗浄作業

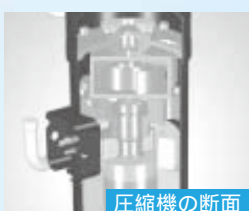
おすすめします

常

Point 1

冷媒回路の保全整備

対象部品	圧縮機、電子式膨張弁、冷媒系統、保護装置、熱交換器ほか
点検時期	冷房シーズン前
保全時期とポイント	1)使用時間:2万時間(または使用8年程度経過)を目処に保全提案を行っています。 2)多台数の場合、1系統を分解調査を実施し、最適な機器全体の保全計画立案も行っています。



圧縮機の断面



シリンダー部

可動スクロール圧縮機の場合

室外機熱交換器が汚れたままで高負荷、高温運転を続けると運転効率が低下し無駄なエネルギーを消費することになります。
また、高負荷運転による磨耗分や劣化物が冷媒回路に流出し他の部品に悪影響を及ぼすことになります。

Point 2

電気部品の保全整備

対象部品	ファン・モータ、ドレンポンプ、フロートスイッチ、マグネットスイッチほか
点検時期	冷房シーズン前
保全時期とポイント	1)特に、マグネットスイッチ類は定期的な交換をお奨めしています。 マグネットスイッチは運転/停止毎の入り切り動作により、まわりの影響を受けやすい部品です。マグネットスイッチの誤動作による異常な電流は、圧縮機やファンモータなど重要な部品の故障に繋がる恐れがありますので、早めの交換をお奨めしています。



室外ファン

ファンの場合

空気調和機は、熱交換器、送風機などで構成されています。
送風機は冷暖房期間中はもとより、中間間でも外気取り入れや換気のために、ほとんど年間を通じて運転されています。
ご使用期間が長くなると部品の劣化が始まり摩耗故障が発生します。

Point 3

電子部品の保全整備

対象部品	電装品、コンデンサー、圧力・温度センサー、SW電源ほか
点検時期	冷房シーズン前
保全時期とポイント	1)特に、制御部品はマグネットスイッチと同時の交換をお奨めしています。 2)センサー類は3~5年を目処に点検修理をお奨めします。 センサーの誤動作は「無用な運転による消費電力の増加」や「高負荷運転で故障停止」に繋がる恐れもありますので、早めの交換をお奨めします。



電装品

電装品、温度・圧力センサーの場合

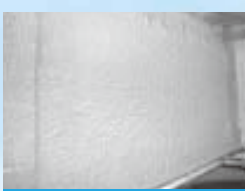
電装品は、長年の使用により塵埃の堆積や湿度の影響で各部品の端子間において絶縁劣化の発生する可能性があり、誤作動や最悪の場合は故障に至ります。
また温度・圧力センサー類も経年劣化により、測定精度が低下します。

に最新の知識・技術で確実にメンテナンス

Point 4

機構 / 構造部品の保全整備および熱交換器洗浄

対象部品	フィルター、ファンベルトほか / 吹出・吸込グリル、ドレンパン、フレームほか及び熱交換器洗浄
点検時期	冷房シーズン前
保全時期とポイント	1) 熱交換器洗浄は3～5年毎に熱交換器部の汚れや詰り具合を調査し、洗浄提案を行っています。



ホコリが詰まった状態



洗浄・清掃後

熱交換器・送風機の場合

運転中は室内のホコリを吸い込みます。ホコリはさまざまな箇所に付着しますが、熱交換器や送風機に付いたホコリは重大です。熱交換を妨げるだけでなく、風量も減少させ能力低下を起します。

また、カビ、悪臭の発生の原因になります。

Point 5

別売品の保全整備

対象部品	水スプレー装置、加湿器、空気清浄機、全熱交換機ほか
点検時期	冷房・暖房シーズン前 特に、エネカット / 加湿器などの給水機器は毎年シーズン前後に元栓の開閉確認が必要です。
保全時期とポイント	1) 給水機能がある機器は、3～5年毎に水垢や腐食の発生具合を調査し、保全提案を行っています。



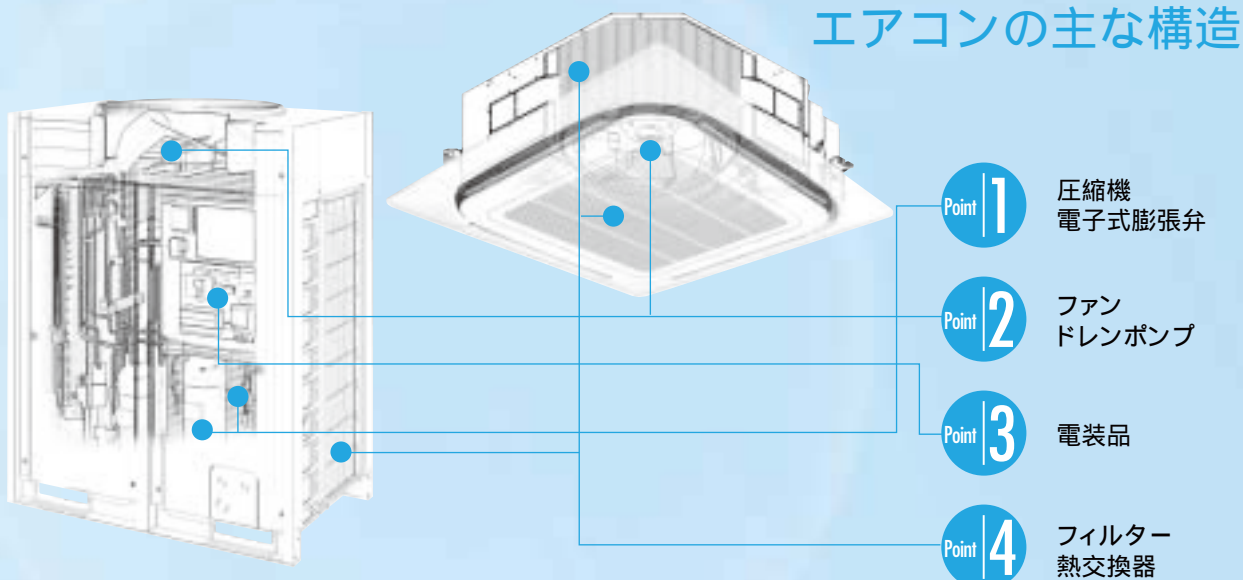
エネカット



加湿機

エネカット、加湿器の場合

エネカットや加湿器など水を使用する機器は、水垢による詰りや水漏れなど重大なトラブルに繋がる危険性がありますので、シーズン前後の定期的な点検をお奨めします。



日本冷凍空調工業会の保守 / 点検ガイドラインおよび弊社基準を元に上記保全整備をお奨めします。

ビル設備管理の未来形。 省エネ・省コストを実現するソリューションサービス

空調設備メンテナンスシステム エアネットコンカレント エアネットサービスシステム

ダイキンエアコンのご購入時にご契約頂ければ、
大きな安心と、管理費のコスト削減をご提供します。

万全のサービス体制で、計画的な保守管理をサポート。

空調設備を24時間体制で遠隔監視。管理の省力化が図れます。

万一の異常発生時にも365日24時間、専任エンジニアが対処します。

保守管理費だけでなく、修理費も計画的に運用できます。

10年間の修理費が無償。ビル運営費が計画的に運用できます。

初年度はオンライン監視 / 診断¹も無料でご提供します。

1. オンライン診断: オンラインデータをもとに、故障予防、省エネ、機能回復を図ります。



エアネットコントロールセンター

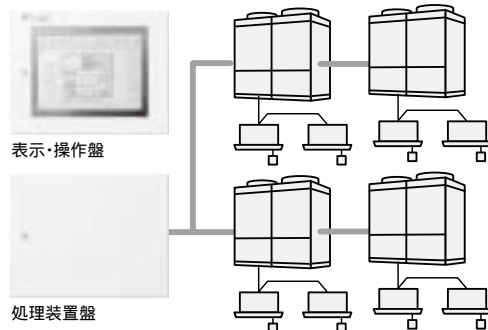
ビル設備統合監視制御盤 D - BIPS C

ダイキンエアコンとの組合せで、低コスト・高機能な
空調管理システムが展開できます。

空調機器に備わっている通信機能をフルに活用した空調監視盤です。

既存設備の監視もソフトのバージョンアップで可能です。(中央監視盤へ発展)

一般の中央監視盤の更新よりも計装・機器費用が大幅に軽減できます。



遠隔ビル総合管理 ビルエアネットシステム

ビル全体の設備管理から保守サービスまでを
一括で、低料金でご提供いたします。

サービス・窓口を一元化することで、省管理を提供します。

エアネットコンカレント・D-BIPS C との組合せで、さらに低価格でオンライン
監視に発展します。

万一の異常時も1時間以内²に到着し、専任のエンジニアが対処します。

ビルの新築・更新時からのデータ活用により、効果的な省エネ・省コスト管理が
行えます。

常にベストコンディションに保って運転するため、機器の長寿命化が図れます。

(ライフサイクルコストの低減)

2・地域によっては、1時間以内での対応ができないことがあります。

・契約、ご相談など詳細については弊社営業担当窓口までお問合せください。



お問合わせは下記へどうぞ。電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようにお願いします。

ダイキン工業株式会社

ダイキン
コンタクトセンター
お客様総合窓口

最初に「186」をダイヤルしていただくと折り返しの連絡等がスムーズに行えます。

0120-88-1081.....全国共通フリーダイヤル

FAXでのお問合わせは 0120-07-0881.....FAX専用フリーダイヤル

http://www.daikincc.com.....ご相談対応ホームページ

東日本担当センター 〒143-0015 東京都大田区大森西3丁目29-7

西日本担当センター 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4丁目5-2

24時間 365日

営業時間

24時間365日対応

対応業務

空調機に関するご相談・お問合わせ

お問合わせ・お申込みは、お近くの窓口へご相談ください



この印刷は、環境保護のため制定されたCAA(大気洗浄)によるVOC(揮発性有機化合物)規制に対応した環境に優しい大豆油インキで印刷しております。